

理解しよう

信じよう

目を向けよう

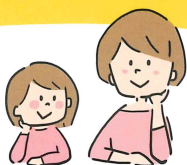
受けとめよう

つながろう

ほめまち中津の 家庭教育ノ ススメ



理解しよう



理解しよう 子どものことを 伝えよう 親の気持ち

スマホ、ゲーム、夢など、子どもが興味や関心があるものについて笑顔で話し合ってみませんか？

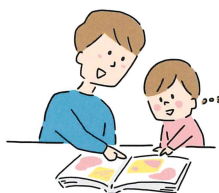
信じよう



信じよう 任せよう ほめてつけよう 子どもの自信

基本的な生活習慣は、ほめることで自信につながります。子どもの自尊感情を高めましょう。

目を向けよう



親子一緒に ほめて 学んで 達成感

テストの点に表れないこともあります。日々のがんばりに目を向け、子どものやる気に働きかけましょう。

受けとめよう



親子で共感！ 小さな変化を受けとめよう

日々の子どもの様子や言葉に気を配り、心と体の小さな変化を受けとめましょう。

つながろう



ささえ愛 子どもでつながる P.T.C.A

※P(保護者) T(先生) C(地域) A(組織)

PTAや地域行事に参加し、子育てネットワークでつながりましょう。

だいじなのは コミュニケーション ちゃ！



保護者のみなさまへ

家庭は、教育の原点であり、全ての教育の出発点です。

家庭には、子どもが生活のために必要な習慣を身につけさせるとともに、自分の力で生きる自信を育て、心と体のバランスのとれた成長を助ける重要な役割があります。

中津にゆかりの深い福澤諭吉は、毎朝、息子の一太郎と捨次郎に、日々守ることや身近な知識などを紙に書いて教えていました。その教えが『ひゞのをしえ』（明治4年）です。この『ひゞのをしえ』には、どんな子どもに育てほしいかという諭吉の願いがつつられています。

令和2年、中津市PTA連合会では、中津市教育委員会と協力して「ほめて 認めて 励ます」コミュニケーションにより、支え合い、認め合う家庭づくりをめざした目標（「ほめまち中津の『家庭教育ノススメ』」）を、全国的にも著名な教育実践研究家の菊池省三先生にアドバイスをいただきながら作成しました。

完成までに、のべ200名の保護者が、長い時間をかけて熟議を重ねてきました。完成した「ほめまち中津の『家庭教育ノススメ』」には、子どもの豊かな成長を願う親の想いや子どもとしっかり向き合おうとする親の姿勢などが、素直な言葉で表されています。

現在、中津市PTA連合会では、この『家庭教育ノススメ』を使って保護者が授業を行い、「ほめて 認めて 励ます」親のかかわりを、市内の家庭に広げています。令和4年は、3つの小中学校で授業を行っています。今後も、この授業を皆様と一緒に進めながら、様々な活動に取り組んでいきたいと考えています。皆様には、この『家庭教育ノススメ』を家庭内に掲示していただき、良好な親子関係を築くために役立てていただくと幸いです。



画像提供 慶應義塾福澤研究センター

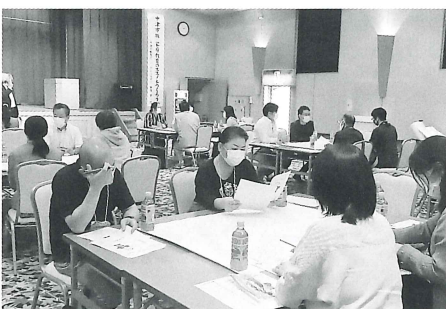
良好な コミュニケーション

子どもの
自尊心の
高まり

子どもの夢を
応援



令和2年7月18日(土) グループで子育ての不安や悩みを出し合い、発表しました。



令和2年10月17日(土)・31日(土) いろいろな問題を解決するための親のかかわり方について熟議しました。



令和2年12月19日(土) 完成した「ほめまち中津の『家庭教育ノススメ』」を発表しました。また、この『家庭教育ノススメ』を市P連、各校PTA、各家庭でどのように活用するのか熟議しました。